



たいじゅ もり
大樹の森

3月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>

「糸」をつなぐ

校長 山下 謙一郎

厳しい寒さを乗り越え、校庭の草木にも新芽が見られるようになりました。いよいよ旅立ちの春を迎え、子どもたちの顔には進級できる嬉しさと今のクラスの友達との別れを惜しむ淋しさが入り混じったなんとも言えない表情が見られます。学校において、3月は特別な雰囲気醸し出される、そんな月でもあります。

さて、毎年この時期になると、私は2011年3月11日に起きた東日本大震災を思い出さずにはられません。東北地方を中心に起きた大災害に日本中が呆然と立ちすくんだことを今でも鮮明に覚えています。あれから12年の年月が過ぎ、当時生まれた子どもたちが小学校を卒業する年となりました。月日の経つ早さを感じるとともに、日本人の決して諦めない心やたくましさを私は誇りに思います。

この当時、テレビや新聞等でよく見かけた字がありました。それは「絆」という字です。また、「縁」や「結」「紡」という字も多く見かけました。これらの漢字に共通するのは「いとへん」。糸はとても細く弱いイメージがありますが、何本か束ねたり、ねじり合わせたりすることで強くなります。歌手の中島みゆきさんの歌にも「糸」という名曲があり、人を糸で表現していました。

縦の糸はあなた 横の糸は私
織りなす布は いつか誰かを 暖めうるかもしれない

この不動丸小学校で学んだ子どもたちは、まもなく進学、進級していきます。新しい友達や先生に出会うたびに、1本の糸である子どもは、「縁」があって出会った他の糸と新しい関係を「結」び、素敵な「絆」を「紡」いでいくと私は信じています。

保護者、地域の皆様には一年間不動丸小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。来年度も引き続き、不動丸小学校を応援していただきますようよろしくお願い致します。